

学校だより 第14号

平成31年（西暦2019年）2月1日 津市立榊原小学校



新しい気持ちで新しい年を迎えてから早一ヶ月が過ぎました。榊原小の子どもたちは寒さに負けず、元気に勉強や運動に励んでいます。インフルエンザ等による学級閉鎖や休校措置も今のところありません。児童会の委員会から始業式に全校に呼びかけてくれた予防対策の手洗いとうがいの励行をお願いします。

さて2月3日は「節分」、翌4日は「立春」を迎え、暦の上では春を迎えるとはいうものの、まだまだあちこちで雪の便りが届くなど、季節はまだまだ冬本番の様相を呈しています。「節分」には、平安時代に中国から伝わったといわれる悪魔払いの「豆まき」が今でも残っています。一昔前には、家々から「鬼は外、福は内」の声が聞こえたものでした。また、自分の年の数だけ豆を食べると病気にならないという言い伝えもありました。ここでいう鬼とは、病気や災害などだったのでしょうが、それだけでなく私たち人間には、心の中にいろいろな鬼（悪魔）が住みついていて、「なまけ心」「わがまま」「いじわる」「ひとりよがり」「怒り」「暴力」などは、「心の鬼」から生まれてくるものだと考えられていたのではないのでしょうか。「豆まき」には、このような「心の鬼」をも追い払ってしまいたいという古くからの日本人の願いが感じられます。

これら季節の行事は、日本人の生活の中から生まれてきたものです。四季がはっきりとした国土に住む私たち日本人は、季節に対して非常に敏感であり、それら行事の中に多くの願いや祈りが込められていたのでしょう。いまだに春は来ないけれども、春を待ちわびる心がふつつと沸き立ち、自然と人々の生活のつながりをおぼえ、すがすがしさに似た心の広がりを感じさせられます。2月2日（土）には、本年度最後の授業参観と全員懇談会を行います。お子さんの1年間の成長の様子を見て、次年度に向けての準備をしていただく機会になればいいと思います。

新年祭（射山神社）

1月1日（火） 元日

射山神社で、元日に新年祭が催行されました。児童7人が舞の奉納をしてくれました。



地域懇談会

1月13日（日）

榊原小学校の体育館2階（ミーティングルーム）で、第211回地域懇談会（榊原地区）が開かれました。PTA 会長さん、自治会連合会長さんを始め、たくさんの団体の代表や地域の方々の参加がありました。津市に対して榊原小学校の校舎のトイレの洋式化（児童・職員ともに）、通学路の安全確保等の要望をあげていただきました。

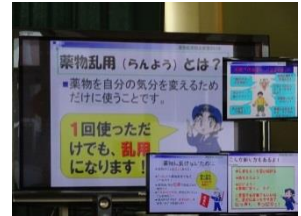


榊原小学校のホームページをご覧ください。
<http://ednet.res-edu.ed.jp/s-sakakibara/>

薬物乱用防止教室（6年）

1月15日（火）

三重県警察本部 生活安全部少年課の事務官 渡邊さんに、6年生が薬物乱用防止教室でご指導いただきました。「薬は1回使っただけでも乱用である」とか「甘いささやき（誘いのことば）を断る勇気を持つこと」などをクイズを交えたスライドや映像を見て学びました。



学校保健委員会

1月17日（木）

学校医・学校歯科医・学校薬剤師・各学年のPTA学級委員さんと教員（校長・教頭・養護教諭・生徒指導担当）が参加して、学校保健委員会が開かれました。まず学校側から、定期健康診断結果・保健室来室状況・生活チェック結果等について報告し、その後参加者のみなさんからご意見をいただきました。



地区学習会（4・5年）

1月18日（金）

地区学習会で、温泉保養館「湯の瀬」まで歩いて行きました。学校から東へ約1km（徒歩10分）の場所にあります。まず、担当の方から説明を聞きました。その後、子どもたちはたくさんの質問をして答えをいただきました。後半は、館内（休憩室等）を案内していただきました。普段入ることのできないボイラー室も見学できました。最後に男女別の浴室に入り、歩行浴（冷たい湯と温かい湯）を体験させていただきました。



人権フェスティバル

1月20日（日）

久居西中学校の体育館とその周辺で、「久居西中学校区人権フェスティバル」が開催されました。11:00～バザー・模擬店、13:00～表彰式、14:00～人権講演会でした。5年生の中脇さんと脇田さん、6年生の近藤さんと高沼さんが人権ポスターの部で表彰を受けました。人権講演会は、「性別って2つだけ？ ～人の数だけ性別がある～」という演題で、一般社団法人「ELLY」代表理事の山口颯一から、LGBTについてのお話を聞くことができました。

